



## 2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月15日

上場会社名      リファインバース株式会社      上場取引所 東  
 コード番号      6531      URL      http://www.r-inverse.com  
 代表者      (役職名) 代表取締役社長      (氏名) 越智 晶  
 問合せ先責任者      (役職名) 経理部長      (氏名) 和田 琢      TEL 03 (5643) 7890  
 四半期報告書提出予定日      2019年5月15日      配当支払開始予定日      —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無      : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第3四半期の連結業績（2018年7月1日～2019年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	1,882	5.5	△175	—	△196	—	△180	—
2018年6月期第3四半期	1,784	2.9	28	△85.2	8	△94.9	43	△64.7

(注) 包括利益      2019年6月期第3四半期      △180百万円 (—%)      2018年6月期第3四半期      43百万円 (△64.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	△60.05	—
2018年6月期第3四半期	14.42	14.10

(注) 2019年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第3四半期	3,113	766	24.4	249.16
2018年6月期	3,102	882	28.3	292.42

(参考) 自己資本      2019年6月期第3四半期      759百万円      2018年6月期      878百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,696	11.9	69	481.6	36	—	29	△47.6	9.98

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3 Q	3,049,950株	2018年6月期	3,004,950株
② 期末自己株式数	2019年6月期3 Q	100株	2018年6月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3 Q	3,005,343株	2018年6月期3 Q	3,000,416株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくなる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、海外経済や政策に関する不確実性の影響などもあり、先行きについて留意すべき状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、新規事業の製鋼副資材製造販売は生産ラインがフル稼働で生産・販売をしており、持続的な成長のための事業基盤が強化されてきております。また成長に不可欠な新規事業に係る積極的な研究開発投資は継続しており、その成果として早期の新規事業立上げが可能な状況となってきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,882,313千円(前年同期比5.5%増)、営業損失175,648千円(前年同期は営業利益28,104千円)、経常損失196,976千円(前年同期は経常利益8,767千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失180,458千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益43,280千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、当社設備のメンテナンス実施に伴い、使用済みカーペットタイルの処分受託量を一部制限しましたが、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、また中国の廃プラスチック輸入規制に端を発した最終処分費用の高騰の影響もあり、使用済みカーペットタイルの処分受託売上高は順調に推移しました。

また、底堅いリニューアル需要を受け、原状回復時のカーペットタイルの張り替え件数が増えていることに加え、インテリア業界においては環境対応製品の市場がさらに拡大しており、その基礎原料としての当社グループの製品に対する需要は引き続き堅調に推移しております。更に、新規事業として開始した製鋼副資材製造事業は強い需要に応じるために生産ラインはフル操業で供給しており収益に貢献しております。

当第3四半期連結累計期間において、前期の課題となった新工場のライントラブルも解消し安定した生産状況が継続しております。一方、原料在庫の整理に伴う費用や新規リサイクル技術の研究開発費、ナイロンリサイクル事業の新拠点開設費用などが増加した結果、売上高は570,257千円(前年同期比6.4%増)となり、セグメント損失は151,716千円(前年同期はセグメント損失44,301千円)となりました。

## ② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、カーペットタイルリサイクルに関連したオフィス系改修工事に伴う内装系廃棄物処理は順調に推移しております。また、インバウンド需要に関連した商業施設やホテル等の大型改修工事に關しても受注件数は安定的に推移しており、市場が拡大しているマンション等のリフォーム・リノベーション案件においても、解体工事から収集運搬・中間処理までの一括受注体制の強化が引き続き業績に寄与しております。しかしながら、廃棄物処理費用や外注費、燃料費などが増加したことが影響し、この結果、売上高は1,321,047千円(前年同期比4.5%増)となり、セグメント利益は156,218千円(前年同期比33.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,182,135千円となり、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)と比べ13,792千円増加しております。これは主として現金及び預金が45,044千円増加、受取手形及び売掛金が31,024千円増加、商品及び製品が20,714千円増加、未収還付法人税等が20,385千円減少、その他が39,714千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,868,277千円となり、前年度末と比べ8,991千円増加しております。これは、主として無形固定資産が2,487千円増加、投資その他の資産が5,181千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産は62,588千円となり、前年度末と比べ11,982千円減少しております。これは、開業費が11,982千円減少したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は676,922千円となり、前年度末と比べ29,345千円増加しております。これは主として支払手形及び買掛金が6,083千円増加、1年内返済予定の長期借入金が52,190千円増加、未払金が42,185千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,669,319千円となり、前年度末と比べ97,007千円増加しております。これは、主として長期借入金が100,496千円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は766,759千円となり、前年度末と比べ115,550千円減少しております。これは、主として利益剰余金が180,458千円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の連結業績予想につきましては、当第4四半期において大型案件の受注が見込まれており、当該案件における収益が業績に大きな影響を与えると予想しております。

当該案件の収益が当期に業績に計上される可能性もあるため、現段階では業績予想については修正を行わず、当該案件の進捗等の状況に変化があり業績に与える影響が確定した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	540,230	585,274
受取手形及び売掛金	346,021	377,045
商品及び製品	74,452	95,166
仕掛品	18,640	12,997
原材料及び貯蔵品	33,135	33,834
前払費用	37,494	19,906
未収還付法人税等	61,269	40,884
その他	57,404	17,690
貸倒引当金	△304	△664
流動資産合計	1,168,342	1,182,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	876,640	905,759
機械装置及び運搬具	801,124	909,151
工具、器具及び備品	76,806	77,159
土地	102,100	102,100
リース資産	111,533	123,509
建設仮勘定	24,915	48,973
減価償却累計額	△494,653	△666,862
有形固定資産合計	1,498,467	1,499,790
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	30,000
繰延税金資産	206,040	206,040
敷金及び保証金	97,424	101,331
その他	17,936	17,992
貸倒引当金	△1,842	△622
投資その他の資産合計	349,559	354,741
固定資産合計	1,859,286	1,868,277
繰延資産		
開業費	74,570	62,588
繰延資産合計	74,570	62,588
資産合計	3,102,200	3,113,002

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,973	55,057
1年内返済予定の長期借入金	291,592	343,782
リース債務	27,876	32,985
未払金	192,196	150,010
未払費用	50,535	42,428
未払法人税等	17,800	4,987
未払消費税等	5,511	26,380
賞与引当金	—	7,958
その他	13,090	13,333
流動負債合計	647,577	676,922
固定負債		
長期借入金	1,325,652	1,426,148
リース債務	54,420	52,108
資産除去債務	149,095	152,516
繰延税金負債	43,144	26,237
その他	—	12,308
固定負債合計	1,572,312	1,669,319
負債合計	2,219,889	2,346,242
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	408,372	439,219
資本剰余金	456,410	487,258
利益剰余金	13,978	△166,479
自己株式	△96	△96
株主資本合計	878,665	759,901
新株予約権	3,645	6,857
純資産合計	882,310	766,759
負債純資産合計	3,102,200	3,113,002

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年7月1日 至 2018年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）
売上高	1,784,467	1,882,313
売上原価	1,304,911	1,530,541
売上総利益	479,556	351,772
販売費及び一般管理費	451,451	527,420
営業利益又は営業損失（△）	28,104	△175,648
営業外収益		
受取利息	14	306
物品売却益	—	1,022
作業くず売却益	1,050	668
その他	1,715	1,816
営業外収益合計	2,781	3,813
営業外費用		
支払利息	11,822	13,084
開業費償却	10,267	11,982
その他	28	75
営業外費用合計	22,118	25,141
経常利益又は経常損失（△）	8,767	△196,976
特別利益		
固定資産売却益	—	2,416
特別利益合計	—	2,416
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	8,767	△194,560
法人税、住民税及び事業税	2,315	2,804
法人税等調整額	△36,828	△16,906
法人税等合計	△34,513	△14,102
四半期純利益又は四半期純損失（△）	43,280	△180,458
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	43,280	△180,458



（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年7月1日 至 2018年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	43,280	△180,458
四半期包括利益	43,280	△180,458
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,280	△180,458
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年7月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）

株主資本の金額の著しい変動

当社は、第三者割当増資を行い2019年3月29日に払込が完了しております。これにより45,000株の株式発行を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金および資本剰余金がそれぞれ30,847千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が439,219千円、資本剰余金が487,258千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	521,515	1,262,952	1,784,467	1,784,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,431	1,712	16,143	16,143
計	535,946	1,264,664	1,800,611	1,800,611
セグメント利益又は損失 (△)	△44,301	235,818	191,516	191,516

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	191,516
セグメント間取引消去	△368
未実現利益の調整額	△889
全社費用(注)	△162,153
四半期連結損益計算書の営業利益	28,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	564,054	1,318,259	1,882,313	1,882,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,202	2,787	8,990	8,990
計	570,257	1,321,047	1,891,304	1,891,304
セグメント利益又は損失 (△)	△151,716	156,218	4,501	4,501

## 2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,501
セグメント間取引消去	△326
未実現利益の調整額	△4,345
全社費用(注)	△175,477
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△175,648

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。